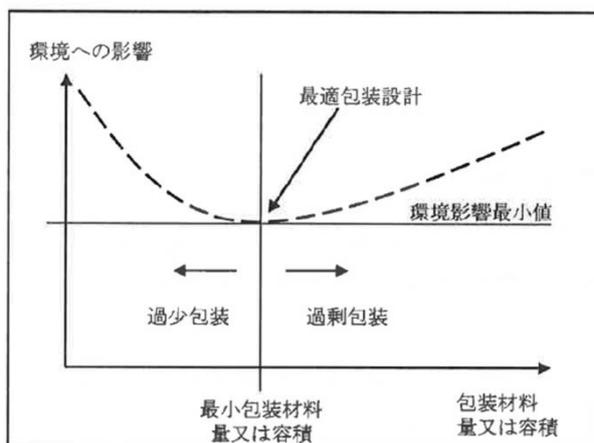


プラスチック容器包装リサイクル推進協議会

■環境配慮に関する自主設計ガイドラインを検討

2013年9月から始まった容器包装リサイクル法（以下、容リ法）見直しの合同審議会での議論を踏まえて、当協議会では事業者の自主的取り組みによるプラスチック製容器包装（以下、プラ容器包装）の環境配慮設計を推進するための取組み指針の検討を進めています。

プラ容器包装は、使用される樹脂の材質が多様で、形態も多種あり、包装・充填される中身製品も、各種食品、洗剤、化粧品、医薬品など、様々な分野におよび、幅広く日常生活を支えています。



そうした実情を踏まえて、夫々の中身製品の特質、特性を生かし、かつ中身製品と容器包装を含むライフサイクル全体での環境負荷を低減し、3Rなどを自主的に進めていくとともに、市民、自治体との相互理解と連携を図り、循環型社会に貢献して行く所存です。

なお容器包装の環境配慮設計に関する指針として、ISO18600シリーズに合致した新たなJIS規格の検討が進められています。

<包装の適正化>

■環境配慮設計と3Rの事例集を継続発行

プラ容器包装の薄肉化、コンパクト化や複合材質化などプラスチックの使用量を削減化を進めてきました。

また、中身製品から容器包装までの環境に配慮した商品設計を心がけた商品づくりに取り組んでいます。

3R事例集では、3Rに関する特定事業者の取組み情報やその成果を発信しております。

日頃より取り組んできた成果を、継続して3R事例集として作成し、プラ推進協のホームページに掲載し広く一般に広報しました。

【2013年版3R事例集をホームページに掲載】

URL: <http://www.pprc.gr.jp/3r/pamphlet.html>



【3R事例集 2013年版】

■市民・自治体・事業者の意見交換会を全国各地で実施

3R推進のための課題である主体間連携のために、当協議会とPETボトルリサイクル推進協議会の共催による市民・自治体・事業者との意見交換会を、2012年度から継続して開催し、

各主体との相互理解の深化を通して、情報の共有化や連携を進めてまいりました。

2012年度は、神戸市、札幌市、仙台市、東京都の4地区で開催、2013年度は、熊本市、川崎市で開催しました。

2014年度は、7月に松阪市、11月には盛岡市で開催し、通算で8回となりました。

さらに2015年初には北九州市で開催する予定です。

<意見交換会の開催状況>

開催日	開催場所	参加人数	分科会テーマ
2012年7月13日	神戸市	74名	<ul style="list-style-type: none"> ■リサイクル・3R ■容器包装の環境配慮設計
2012年9月4日	札幌市	23名	<ul style="list-style-type: none"> ■リサイクル・3R ■容器包装の環境配慮設計
2012年10月31日	仙台市	43名	<ul style="list-style-type: none"> ■リサイクル・3R ■容器包装の環境配慮設計
2013年2月22日	東京都	89名	<ul style="list-style-type: none"> ■主体間連携はどのようにすればよいか ■分別・収集と識別表示の問題 ■プラスチック製容器包装の再商品化はどうあるべきか ■容器包装についての要望と環境配慮設計(DfE) ■拡大生産者責任(EPR)と3R
2013年9月20日	熊本市	69名	<ul style="list-style-type: none"> ■リサイクル・3R ■容器包装の環境配慮設計
2014年2月21日	川崎市	33名	<ul style="list-style-type: none"> ■分別・収集と識別表示 ■プラスチック製容器包装の再商品化と連携 ■容器包装の機能と環境配慮設計
2014年7月11日	松阪市	62名	<ul style="list-style-type: none"> ■リサイクル・3R ■容器包装の環境配慮設計
2014年11月28日	盛岡市	35名	<ul style="list-style-type: none"> ■リサイクル・3R ■容器包装の環境配慮設計



【神戸・会場風景】



【札幌・会場風景】



【仙台・会場風景】



【東京・会場風景】



【熊本・会場風景】

■ プラ推進協・3R 推進セミナー開催

2013 年度は、会員及び関係主体への情報提供と、容器以外のプラスチックについてなどを主体に 3R 推進セミナーを開催しました。2014 年度は 7 月、12 月の 2 回開催したところです。

<セミナー開催状況>

	開催日	基調講演者	テーマ
2013 年度 第 1 回セミナー	2013 年 6 月 17 日	神戸大学大学院 教授 石川雅紀 氏	容器包装リサイクル法見直しに向けて
2013 年度 第 2 回セミナー	2013 年 12 月 2 日	公益財団法人廃棄物・3R 研究財団 藤波 博 氏	循環 3R の動向について
2013 年度 第 3 回セミナー	2014 年 2 月 3 日	トムソーティング（株） 代表取締役佐々木 恵 氏 エレマジャパン 小田川 知展氏 いその 代表取締役 磯野 正幸 氏	各種選別技術とその実用化と普及状況 洗浄・造粒・ペレット化技術とその普及状況 我が国の再生プラスチック業界の動向と容器プラへの期待
2014 年度 第 1 回セミナー	2014 年 7 月 8 日	公益財団法人日本容器包装リサイクル協会 部長 浅川 薫 氏	プラスチック製容器包装に係る実証結果報告
2014 年度 第 2 回セミナー	2014 年 12 月 5 日	日本プラスチック工業連盟 事務局長 岸村小太郎 氏 一般社団法人 全国清涼飲料工業会 顧問 大平 惇氏	海洋ごみの現状 欧州における E P R の現状



【2013 年度第 2 回】



【2014 年度第 1 回】

■ ボトルキャップの店頭回収・リサイクル実証事業

2014 年 5 月から 6 ヶ月間、特定事業者の自主的な取り組みとして「ボトルキャップの店頭回収・リサイクル実証事業」を行いました。

3 R 推進のための関連事業者の自主的な取り組みによる多様な回収のひとつとして実証を行いました。



学識者によるライフサイクル評価 (LCA) を用いて、実証事業による環境負荷 (温室効果ガス) および資消費 (化石資源) の評価を行い報告書にまとめ公表します。プラキャップの回収・リサイクルのマニュアルとして普及を図ります。



【ポスター】

【回収ボックス】

- <事業主体> ・日本チェーンストア協会 ・日本スーパーマーケット協会 ・
 ・一般社団法人 全国清涼飲料工業会 ・PETボトルリサイクル推進協議会
 ・一般社団法人 日本キャップ協会 ・全日本プラスチックリサイクル工業会
 ・プラスチック容器包装リサイクル推進協議会
- <実施店舗> ・株式会社ヤオコー全店舗

■容り法見直しで、パブリックコメントを 12 項目提出

2013 年 9 月にスタートした容り法見直し審議に伴い、経済産業省・環境省合同審議会でのパブリックコメント募集を受けて、当協議会は、2014 年 8 月末に 12 項目のパブリックコメントを提出致しました。

パブリックコメントは、容り法見直しへの意見として一般に公表した、2012 年 10 月に経済産業省、環境省に提出した「容器包装リサイクル制度に関する提言」や 2013 年 12 月の合同審議会のヒヤリングでの当協議会のコメントなど基に、特定事業者の意見としてまとめたものです。

【容り法の見直しへの意見】

URL:<http://www.pprc.gr.jp/activity/report/images/opinion20131205.pdf>

■エコプロダクツ 2013 に出展



【展示風景】

【展示風景】

2013 年度は、「リサイクル工場」と題して、リサイクルの流れとどのような製品に生まれ変わるかを学べる場を提供し、また容器包装の機能と環境配慮の観点から、子供たちに 3R の重要性を学習してもらいました。